

未来の医療

近年の科学の発達が目覚ましく、毎週のように、夢のような新しいトピックスが飛び込んできます。

今まで不可能だった事が可能に、そして当たり前にと変わっていく時代のスピードは非常に早く、驚かされる毎日です。

反面、簡単な風邪や腰痛が治せなかったり、新型肺炎のような新しい脅威も増えてきています。

科学がどれだけ進んでも、自己免疫力を高める、生活の養生をしっかりと行う事は最重要課題といえそうです。

AIのお医者さん

「変なホテル」をご存じですか？受け付けで、恐竜やコンセルジュロボットが対応したり、掃除もロボットがお手伝いしたりで話題となっています。ここに併設されたクリニックでも、受け付けはもちろん、問診や検査の一部をAI（人工知能）が行っているようです。

ホテルはいずれ「無人化」を目指しているそうですが、クリニックでも、受け付けロボットに誘導され、タブレットで問診、ウェアラブル端末や摂食型カメラで自動診断、デリバリーで薬を受け取ったり、ロボット手術を受けるといった無人クリニックも近い未来には実現する事でしょう。ATMのようにクリニックがコンビニに併設される日も近いかも？



ウェアラブル端末

スマートフォンが世に現れて、私たちの暮らしも大きく変わりました。心電図、超音波画像検査、常時血圧・血糖・酸素飽和度検査、睡眠検査などなど、今まで高価な専用機器が必要だった検査もスマホを使って簡易に行えるようになりました。今後は埋込端末を使って、視力や聴力が無くなった方の脳に映像や音声を届ける、カプセルを飲み込むと自動で病原菌や癌細胞を退治してくれる、動かなくなった手足に電極を埋め込んで、自由に動かす、などの技術が当たり前の時代が来るでしょう。



再生医療

IPS細胞の発見で山中教授がノーベル賞を受賞して8年。まだ実用段階ではありませんが、筋肉、神経、細胞シート、臓器など、様々な部位での研究が進んでいます。現在では、手足や臓器などが使えなくなると、義肢や臓器移植となりますが、将来は自分の移植用の臓器や手足を貯蔵しておいて、必要になったら、気軽に取り換える時が来るかも…。



トレイルランニングに初挑戦！

年末・年始と2つのトレイルランニングのレースに出場しました。「トレイル」とは、舗装されていない山道の事で、登山道の様でこぼこ道を走るレースです。補給食や、救急セット、携帯トイレなどをリュックに入れて、ゴミを出さずに自己責任でゴールまで帰ってくるレースです。20数キロ走りゴール！景色や大自然が味わえ、つねにわくわくドキドキの楽しいレースでした。

今年もがんばるぞ～！



家庭用「のり」で、癌が全滅？

家庭用で使う「液体のり」が注目されています。白血病などで骨髄移植をしますが、難しく、高価だった造血幹細胞の培養が液体のりで成功したとの事です、そして今度は、液体のり併用で癌の放射線治療の効果が飛躍的に高まるというニュースが…。目から鱗の大発見です。今後も日常的に使う安価な材料に、素晴らしい医療効果が発見される事を期待しています。



はり供養

鍼灸治療での大切な相棒でもある「はり」。

廃棄ボックスが満杯になり、引き取ってもらう前に針供養に護摩を焚いてもらいました。たくさん（約1万名）の方の痛みや病の治療に使い、役目を終えた「はり」達。

「ありがとう！」のねぎらいの言葉と共に、送り出せました。

ただの針金だった物が職人さんの手で命を吹き込まれて鍼となり、そして次のものに転生していく。1本1本もっと感謝して扱おうと思った瞬間でした。

